

平成 24 年度
(H24. 4. 1~25. 3. 31)

学校法人川口学園 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 設置する学校・学科

学校法人川口学園（東京都豊島区）は、埼玉女子短期大学（埼玉県日高市）、早稲田速記医療福祉専門学校（東京都豊島区）の2つの教育機関と社会教育法の定める通信教育機関を設置している短期大学法人です。

埼玉女子短期大学は、平成元年に埼玉県狭山市にて開学し、平成 11 年に同県日高市に移転、現在 2 学科を設置しています。

早稲田速記医療福祉専門学校は、昭和 10 年「早稲田式速記普及会 実地教授部」として設立され、昭和 26 年「早稲田速記学校」（各種学校）以降、学科増設や校名変更を経て、現在、医療・福祉系を中心とする学科を設置しています。

各学校の平成 24 年 5 月 1 日現在の入学定員、総定員、総在籍数、定員充足率は以下のとおりです。

【埼玉女子短期大学】（〒350-1227 埼玉県日高市女影 1 6 1 6）

学科名	入学定員	総定員	平成 24 年度	平成 25 年度 (参考)
			総在籍数/ 定員充足率	総在籍数/ 定員充足率
商学科	150 名	300 名	298/99.3%	286/95.3%
国際コミュニケーション学科	150 名	300 名	280/93.3%	323/107.7%
合 計	300 名	600 名	578/96.3%	609/101.5%

【早稲田速記医療福祉専門学校】（〒171-8543 東京都豊島区高田 3-11-17）

学科名	平成 24 年度 入学定員	平成 24 年度 総定員	平成 24 年度 総在籍数/定員充足率
	速記コンピュータ科	20 名	40 名
医療秘書科	120 名	240 名	
医療マネジメント科(2年制)	40 名	80 名	
診療情報管理専攻科	30 名	30 名	
医療マネジメント科(4年制)	10 名	40 名	
くすり・調剤事務科	40 名	80 名	
介護福祉科	60 名	120 名	
鍼灸医療科	30 名	90 名	
合 計	350 名	720 名	

(2) 役員・評議員・教職員の概要

平成 24 年 5 月 1 日現在の本学園役員及び評議員並びに教職員の概要は次のとおりです。

【役員】

理事	理事長	川口 晃玉
	専務理事	川口 拓也 (法人本部担当)
	常任理事	楯沢 栄一 (埼玉女子短期大学学長)
	常任理事	藤野 裕 (早稲田速記医療福祉専門学校校長)
	常任理事	金丸 雅樹 (埼玉女子短期大学事務局長)
	常任理事	金子 和人 (法人本部事務局長)
	理事	矢澤 西二
監事	監事	石川 力 (公認会計士)
	監事	村上 義紀

【評議員】

評議員	評議員	坂間 和男 他 16 名
-----	-----	--------------

【教員の概要 (専任)】

短期大学教員	19 名
専門学校教員	25 名
職員	38 名

2. 事業の概要

平成 24 年度、各学校が行った取り組み等は次のとおりです。

【埼玉女子短期大学】

平成 24 年度の新入生は商学科 144 名、国際コミュニケーション学科 169 名の合計 313 名 (前年 278 名) となりました。平成 25 年度については、地元埼玉県をはじめ東日本を中心に、302 名の新入生を迎えることができました。

就職環境は求人がやや回復傾向にありつつも、継続する厳選採用などにより、就職活動は容易ではありませんでしたが、きめ細かな就職指導と学生の積極性によって就職希望率約 9 割のなか、就職内定率 95.1% (前年 91.3%) の実績をあげることができました。

また、“企業に近いキャリア短大”として、ベースとなるマナー&ホスピタリティ教育とともに本学の特色のひとつであるインターンシップや企業研修への参加者数は、国内外多くの企業にご協力いただき延べ 179 名となり、希望者全員が参加できました。

さらに、学びとともに学生の意欲と自信に繋げる経験値を上げるための活動が充実し、

学内行事やサークル活動、ボランティアへの参加促進のほか、企業連携などによる学外授業や研修も積極的に実施され、特に留学・海外研修には、従来から行われていたアメリカ、カナダに加え、新たに韓国、台湾などへ、延べ38名が参加して、機会と参加者増が図られました。

【早稲田速記医療福祉専門学校】

平成25年度の新入生は、全学科合計で377名（前年343名）となりました。また、平成25年3月卒業生の就職に関しては、就職試験の倍率が高いケースが多く、採用環境の厳しい中で、医療・福祉業界と太いパイプで結ばれた「就職に強いSOKKI」の力を発揮し、97.9%（前年97.7%）の決定率を確保しました。さらに、本校の特色の一つである正規就業比率は97.1%（前年99%）の実績を上げ、卒業生は、病院・調剤薬局・クリニック等の受付や事務スタッフ、福祉施設の介護スタッフとして活躍しています。

教育面の取り組みとしては、入学時オリエンテーションの充実を図り、挨拶・マナーなど本校の教育の姿勢を示すとともに、クラス内での仲間づくりの機会としても活用しました。また、年間を通じて教員研修会と教職員全体会を定期的で開催し、日常の教育課題に対する議論を通じて、共通の認識のもと全員が協力して速やかに問題解決に当たるとともに、医療事務系教科研究会では、検定試験の合格率向上に向けた指導対策に取り組み、合格率の向上に成果が見られました。

SOKKIでは、在学中の学びで「考える力(Think)」・「積極性(Positive)」・「対話力(Communication)」を磨き、卒業後の40年間、社会人として活躍していける力を身につけることを目標にした、「2-40プロジェクト」にも取り組み、その活動の一環として卒業生の学びのニーズに応える「卒業生支援講座」も企画・実施しました。